

新型コロナウイルス入院患者の家族支援研修会

日 時：令和2年11月20日（金）

13時30分～15時30分

場 所：北栄町北条農村環境改善センター 大研修室

1. 開会

2. 講義：濃厚接触者に対し訪問サービスを提供する際の感染予防対策について
（講師）社会福祉専門学校 大畑悦子氏

3. 新型コロナウイルス入院患者家族支援事業について
（講師）鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局福祉保健課 課長補佐 三浦敏樹氏

4. その他

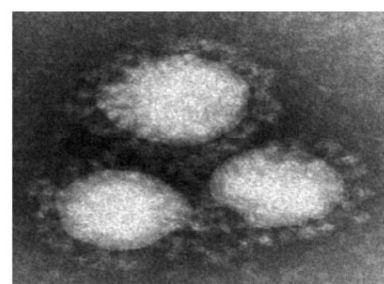
5. 閉会

濃厚接触者に対し訪問サービスを提供する際の感染予防対策について

2020年11月20日
鳥取社会福祉専門学校
感染管理認定看護師
大畑 悦子

本日の内容

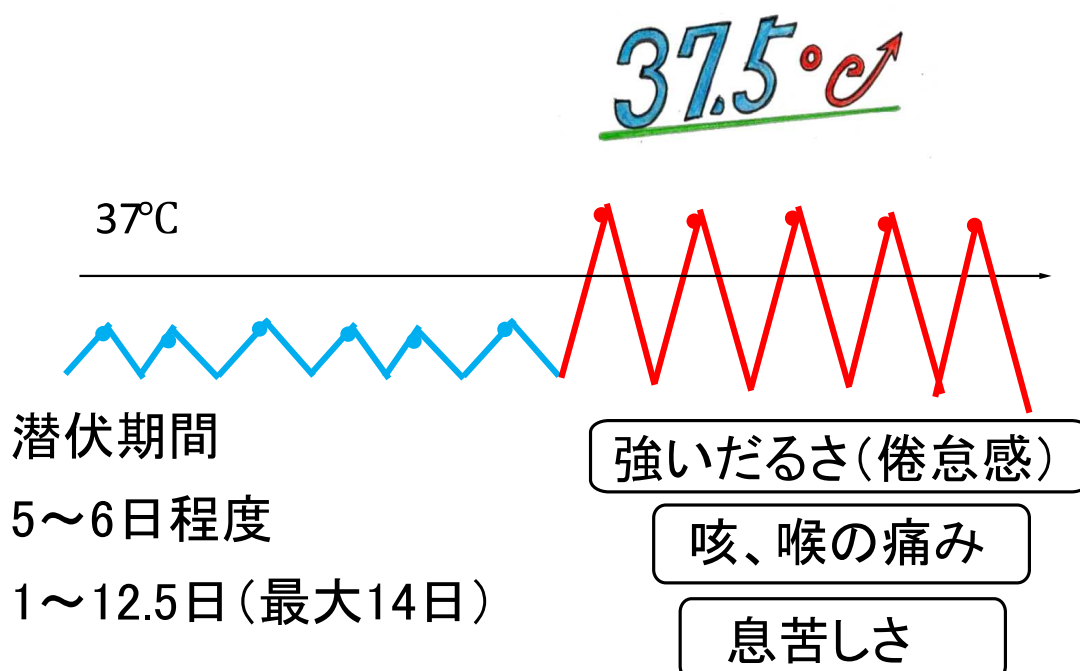
- ・ 新型コロナウイルス感染症の特徴
- ・ 濃厚接触者に対しての感染予防対策



コロナウイルスとは

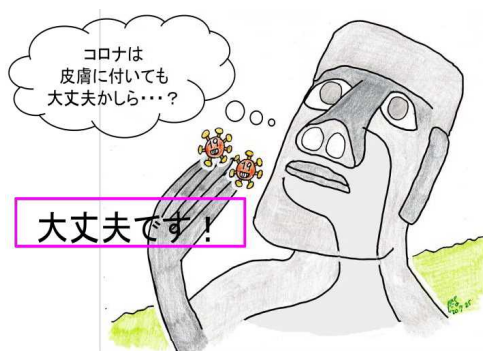
- ・ 通常型ヒトコロナウイルス
 - 229E、NL63、OC43、HKU1
 - 軽度～中等度の上気道感染症を引き起こしている
 - 症状は鼻汁、頭痛、咳、咽頭痛、発熱、全身倦怠感等
- ・ その他のヒトコロナウイルス
 - SARS-CoV: SARSの病原体
 - MERS-CoV: MERSの病原体
 - **SARS-CoV2: COVID-19の病原体**
重篤な気道感染症を起こしている

新型コロナウイルス感染症とは



- コロナは皮膚についても大丈夫かしら・・・？
⇒コロナは**皮膚から感染しません**

- コロナは、体の中に侵入する
目の粘膜、鼻の粘膜、口腔粘膜、舌など
⇒手についたコロナは、鼻や目を触る前には
手指衛生を行う



日本赤十字社豊田看護大学下間正隆先生

ウイルスの感染経路

飛沫感染

感染した人がマスクなしに咳やくしゃみをする
感染した人と会話をする
⇒飛沫からウイルスを吸い込む



接触感染

咳をする時に口を覆ったり、鼻水をかむ際に
鼻を手で触った、この手で、ドアノブ等を触り、
ウイルスを付着させる
⇒ドアノブ等を別の人が触り、
その手で鼻や口、目を触る



新型コロナウイルスの生存期間

物質	生存期間
段ボールの表面	24時間
プラスチック・ステンレス	2～3日
空気中	3時間
金属	5日
木・ガラス	4日
紙	4～5日

手洗いの時間による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数(残存率)
手洗いなし	約100万個
流水で15秒手洗い	約1万個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約100個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)

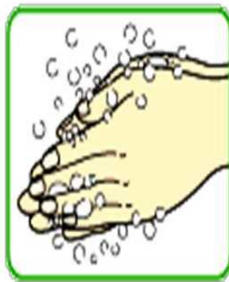
石けんと流水による手指衛生



1 まず手指を流水でぬらす



2 石けん液を適量とり出す



3 手の平と手の平をこすりよく泡立てる



4 手の甲をもう片方の手の平でこする(両手)



5 指を組んで両手の指の間をこする



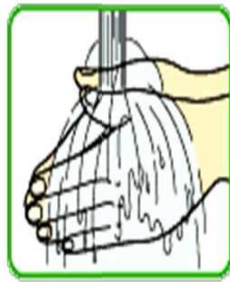
6 親指をもう片方の手で包みこする(両手)



7 指先でもう片方の手の平をこする(両手)



8 両手首までていねいにこする



9 流水でよくすすぐ

アルコール手指消毒剤による手指衛生



1 消毒薬の規定量を手掌に受け取ります。(注)



2 始めに両手の指先に消毒液を擦り込む。



3 次に手掌によく擦り込む。



4 手の甲にも擦り込む。反対も同様に。



5 指の間にも擦り込む。



6 親指にも擦り込む。



7 手首も忘れずに擦り込む。乾燥するまでよく擦り込む。

利用者が濃厚接触の場合の感染予防対策

- ・ ケアの中で感染を防ぐ
 - ①入浴介助
 - ②食事介助
 - ③口腔ケア
 - ④排泄介助
 - ・ 利用者宅のウイルスを外に持ち出さない
 - ・ 自分自身が感染しない
-

- 訪問前の確認
利用者の体調の変化等がないか確認の電話をする
- 訪問時
利用者に体調の変化について再確認し、ケアを行う
会話をする時は、利用者にマスクを着用してもらい、
正面ではなく、横に並ぶようにする

可能な限り担当職員を分けての対応や、最後に訪問する等の対応を行う
訪問時には、換気を徹底する

防護具着用手順

サージカルマスク・常に着用している
利用者宅に入ったら、

手指衛生(石鹼と流水による手洗い、または
アルコールによる手指消毒)

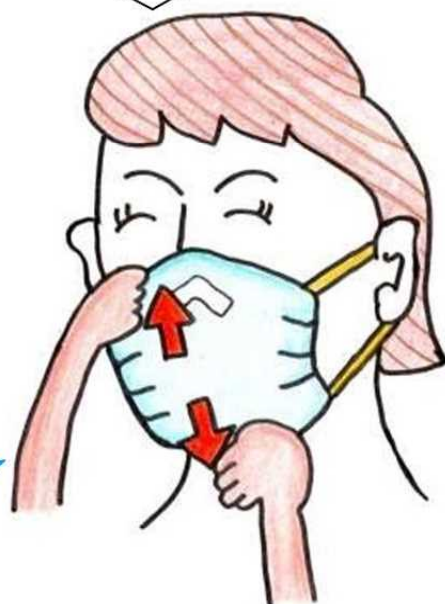
- ①使い捨てガウン
- ②飛沫を浴びる可能性がある場合
ゴーグルまたはフェイスシールド
- ③使い捨て手袋の順に着用



マスクをつける時

鼻の形に合わせて金具に
折り目をつけます

蛇腹を鼻からあごの下まで伸ばして
鼻と口をしっかりとカバーします



OK !

- ケアの中の感染対策

- ①入浴介助

- 利用者が自分で出来るところは行ってもらう
 - なるべく後方から洗う
 - 入浴後の椅子や浴槽は、中性洗剤で洗浄する
 - 利用者が体調不良の場合、清拭に切り替える
 - 清拭で使用したタオル類は、家庭用洗剤で洗濯し乾燥させる



日本赤十字社豊田看護大学下間正隆先生

- ケアの中の感染対策

- ②食事介助

- 流水と石鹸による手洗い後、調理を行う
 - テーブルを消毒用アルコールか0.05%次亜塩素酸ナトリウムで拭く
 - 利用者は、液体石けんと流水による手洗いを
行う
 - 食事中は、会話はなるべく控え、笑顔とOKサインなどでノンバーバルな会話をする
 - 食べ終わった食器は、中性洗剤で洗う

- ・ ケアの中の感染対策

- ②食事介助

- ・利用者には、むせ込みや誤嚥を防ぐため、姿勢よく座ってもらう
 - ・介助する際は、飛沫を浴びないように、正面でなく利用者と横並びの位置で行う
 - ・むせ込んだら、ティッシュでふき取り、ビニール袋に入れ、内部に触れないようにして口を締める
-

- ・ ケアの中の感染対策

- ③口腔ケア

- ・口の中の残渣物や唾液をすぐに流せるように、流し台で行うと良い
 - ・唾液などの飛び散りを防ぐため、やさしく歯磨き、洗浄をする
 - ・口腔ケアを行うときは、利用者と正面に向き合わないようにし、唾液や痰を出来るだけ浴びないように留意する

- ・ ケアの中の感染対策

- ④排泄介助

- ・ 便や尿に触れた後は、使い捨て手袋を交換する
（使い捨て手袋を外した後は、手指消毒をしてから新しい使い捨て手袋を着用する）
 - ・ おむつの中の汚物は出来るだけトイレに流し、おむつ自体はビニール袋、新聞紙などにくるんで廃棄する
 - ・ トイレは、日常と同様の清掃を行う

-
- ・ 利用者宅のウイルスを外に持ち出さない
 - ・ 玄関を出る前に、防護具を脱ぐ

防護具脱ぐ手順

①使い捨て手袋

手指消毒

②飛沫を浴びる可能性がある場合
ゴーグルまたはフェースシールド

手指消毒

③使い捨てガウン

手指消毒

④マスク

手指消毒

⑤ビニール袋の中に入れ、口を締める

手指消毒 玄関を出たら、もう一度手指消毒



手袋を外す方法



1. 手袋の手首辺りの外側を掴む



2. ゆっくりと外す
乱暴にすると、手袋が破れたり、付着した汚れが飛び散る



3. 手袋をしている手で、外した手袋を持つ

手袋を外す方法



4. 手袋を外した手を残った手袋の内側に入れる



5. はじめに外した手袋を中に入れながら、ゆっくり手袋を外す



6. 廃棄物の箱へ捨てる

ガウンの脱ぎ方



(1) 腰ひもと首ひもを外します。



2) ガウンの表面に触れないようにそでから手を抜きます。



3) そでに腕を残しながら、ガウンが裏返るように脱ぎます。



4) そでに腕を残したままガウンを巻き上げます。

PPE(个人防护具)の正しい使用法





下辺を腰のまわり
まで持ってくる



まとめて持ち前に引く



汚染面が内側に
なるようにまとめる



廃棄物に廃棄する

ガウンの外し方



肩ひもを外す



腰のひもを外す



片方の袖の内側から
指をかけて袖を引っ張る



手が隠れるまで引っ張る

ガウンの外し方



袖が外れた手でガウンの内側からもう一方のガウンの外側をつかんで手の先まで下ろす



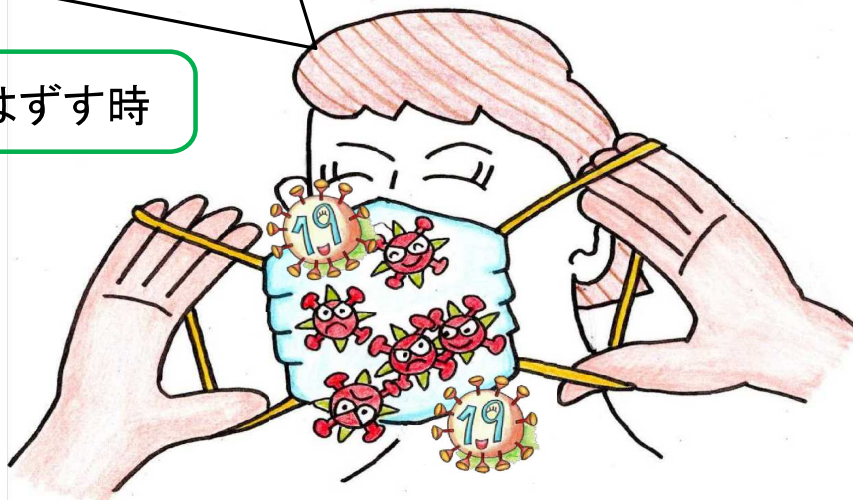
そのまま下に引っ張る



外側に触れないように下ろす
中表にしかけて置く

マスクの表面には、ウイルスが付着しているかもしれません。
ゴムのわっかの部分に手をいれてマスクの表面に
触らないように注意しながら マスクをはずしましょう。

マスクをはずす時



マスクを捨てた後も、忘れずに手指消毒剤、または、石けんと
流水で手をきれいにしましょう

- ・利用者宅のウイルスを外に持ち出さない
 - ・1回のサービス提供ごとに使い捨て手袋、使い捨てガウン、飛沫を浴びる可能性がある場合は、ゴーグルまたはフェイスシールドを着用する
 - ・直行直帰型の場合、終業報告の際に事業所へ自身の健康状態も併せて報告する
 - ・帰宅したら、石鹸と流水による手洗い、うがい、洗顔する
 - ・衣類などは、家庭用洗剤で洗濯する

-
- ・自分自身が感染しない
 - ・体調管理
事業所へウイルスを持ち込まないことが重要



健康確認

職員は、毎朝、自分の体調をチェックする
発熱、咳、倦怠感などの症状があれば出勤しない



介護職に対する啓発

- 手洗いしていない手で、眼、鼻、口に触れない
- 使い捨てガウン・手袋を着用し、1回のサービス提供ごとに交換し、再利用しない
- 使い捨てガウン・手袋、マスク、ゴーグルまたはフェイスシールドを外したら、手指消毒を行う
- 手袋、ガウン、マスクなどはビニール袋に入れて、家庭廃棄物と一緒に廃棄する

まとめ

- ・ 日頃から感染対策の確認を行うことが重要
 - 手指衛生
 - 手指衛生をせず、顔を触らない
 - 正しい個人防護具の着脱方法
 - リスクを考えた防護用具を選択する
 - 体調管理
 - 換気を行う

新型コロナウイルス入院患者家族支援事業・事業説明

令和2年11月20日 ささえあい福祉局福祉保健課

家族まるごと相談窓口

新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮、入院患者家族支援、学校休業など、家庭におけるさまざまな相談をワンストップで受け付ける窓口「家族まるごと相談窓口」を設置。

<家族まるごと相談窓口>

- 電話 0857-26-7688 (県庁福祉保健課)
- 受付時間 8:30~17:15 (土日祝日も対応)



生活費が足りない…
子どもの世話をする人がいない…
など、お困りごとがありましたら
お電話ください

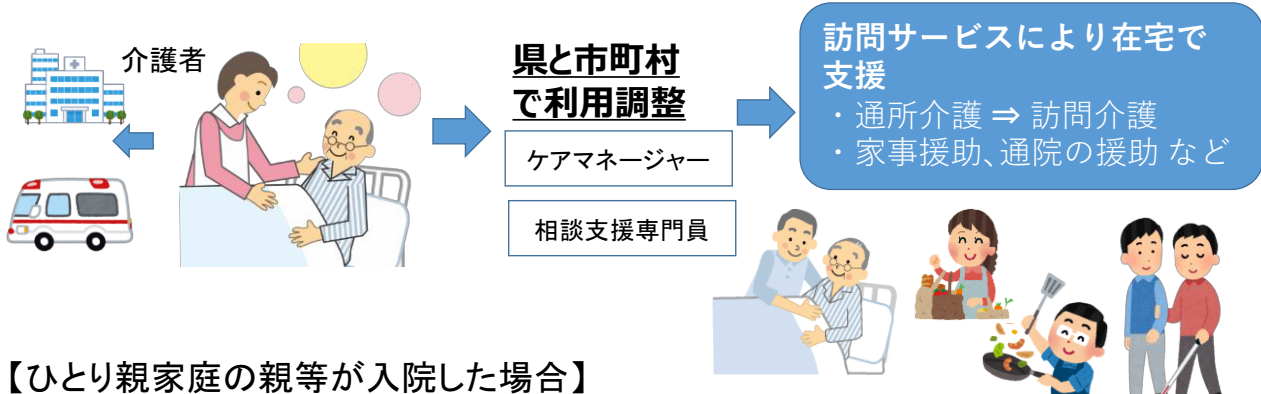


入院患者の家族支援

新型コロナウイルス入院患者家族支援事業

医療機関に家族が入院した場合に、家族の介護や子どもの預かりが必要となるケースに対応

【自宅で高齢者・障がい者の介護をする家族が入院した場合】



【ひとり親家庭の親等が入院した場合】

